



2023年  
8月号

発行所  
神戸教区事務所  
TEL 078(351)5469  
FAX 078(382)1095  
<https://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者  
司祭 瀬山 会治

印刷所  
文明堂印刷所

# イエス様の宣教スタイル

司祭 ミカエル 杉野 達也



「牧師さんですか？」と声をかけられることがよくあります。「教会はどこですか？」と質問され、「良善幼稚園の隣の教会です」と答えると、「実は昔、ガールスカウトをしており、ニコラス教会で結婚式をしました」、「親族のお葬式がニコラス教会で行われました」と教えてくれた方々

と出会いました。神様は本当に不思議な出会いを与えてくださるなと感じます。「ぜひまた教会に来てください」と答えたのですが、「この返答は正しかったのだろうか？イエス様ならどのような対応や返答をされたのだろうか？」と考えさせられます。

イエス様は宣教(神の国へ多くの人を招くこと)のために弟子を選び、遣わす弟子たちに「わたしはあなたがたを遣わす。それは、狼の群れに羊を送り込むようなものだ(マタイ!章!節)」と言われ、「宣教を行うためには辛いことや迫害もあるかもしれない。しかし、人々を恐れてはいけない。あなたがたはたくさんの方よりもまさっている。あなたがたを支援して受け入れ、冷たい水一杯を飲ませてくれる人も必ずいる」と、丁寧に励ましと助言を弟子たちに与えておられます。また、方々の町から後を追ってきた群衆たちを見て、深く憐れみ、病気で苦しんでいる人たちをいやされるイエス様。さらに、五つのパンと二匹の魚で五千人以上の人々が満腹になる奇跡を行われます。その後、弟子たちだけを舟に乗せ、ガリラヤ湖を渡らせた時、逆風のために漕ぎ悩んでいる弟子たちの所にイエス様から近づかれます。そして、一番弟子であるペトロはイエス様の所に「行こうとして湖の上を歩いて行きますが、イエス様以外の

事を考えてしまった時に沈みかけてしまいます。そんな時もイエス様はすぐにペトロの手を掴み引き上げてくださいました。イエス様の宣教のスタイルは、一人ひとりの出会いをとて大切にし、丁寧に関わっていくことだと言えます。

多くの教会で、信徒の高齢化と減少、財政的な問題、これからの教会をどうしようか、どのように宣教していけばいいのだろうか、と悩み苦しんでいるのではないのでしょうか。この姿は逆風に悩まされ、漕ぎ悩む弟子たちの姿に似ています。しかし、イエス様はそんな苦しんでいる私たちを放置されることはありません。イエス様の方から近づいて来られ、私たちと共に歩んでくださいます。そして、何

よりも宣教の現場へと私たち一人ひとりを遣わし、私たちがいつも励まし、鼓舞しておられます。私たちは時に落胆し、下を向いてしまう時もあります。また、イエス様の方を向いているようで違う方を見ている時もあります。そんな時も私たちを引き上げて、「私を見て歩みなさい」と再び立ち上がらせてくださいます。

私たちはイエス様の現代の弟子としてそれぞれの場に遣わされています。「弟子」とは「学ぶ者」という意味です。今一度私たちは、イエス様がどのような宣教を行っていたのかを、イエス様の言葉と行いから学びましょう。そして、一人でも多くの人を神の国に招き入れることが出来るように、一つひとつの出会いを大切に、丁寧に、神様の愛を証していくことができればと思います。

米子聖ニコラス教会牧師・  
鳥取聖ルカ教会・  
境復活教会管理牧師